

平成24年度決算

→ 上下水道局のお財布事情をご紹介します 

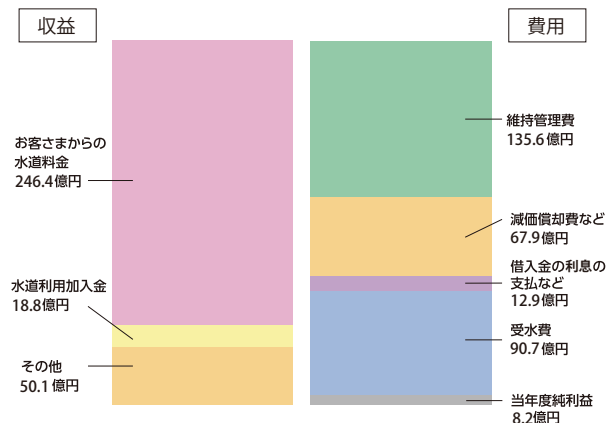
水道事業

水道は、市民の快適な生活や産業活動の進展に欠くことのできない都市の基幹施設であり、安全で良質な水を安定して供給するとともに、東日本大震災を踏まえた地震対策の推進など、災害時における安定給水の確保を目指し、耐震化を考慮した水道施設の更新に取り組んでいます。

水需要については人口が年々増加しているものの、節水型社会構造への変化などからほぼ横ばいで推移しています。

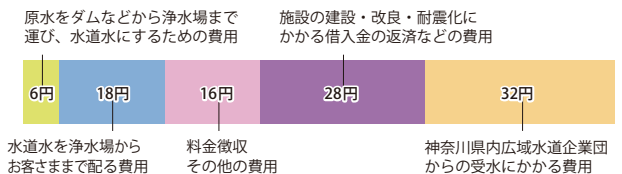
財政面では、行財政改革などによる経費節減を推進したことにより、当年度純利益が8.2億円生じましたが、今後も、再構築計画や施設の耐震化などに伴う建設改良事業を推進していくことから、水道経営の健全化に取り組んでまいります。

経営収支



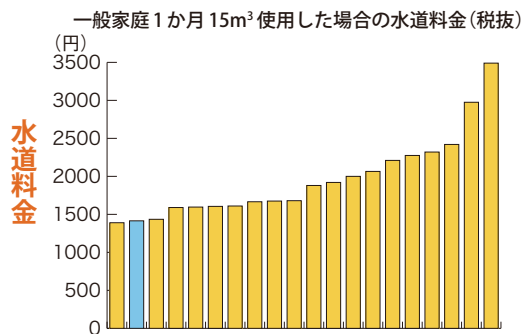
▶▶ 収益 315.3 億円 - 費用 307.1 億円 = 当年度純利益 8.2 億円

水道料金 100 円の使い道



財務課[水道経理] ☎ 044-200-3106 ㊟ 044-200-0376

水道事業者のある大都市比較 (20 都市・東京都含む)



※15m³は、川崎市の1か月平均使用水量
※川崎市の料金は50円の軽減措置を含まない。

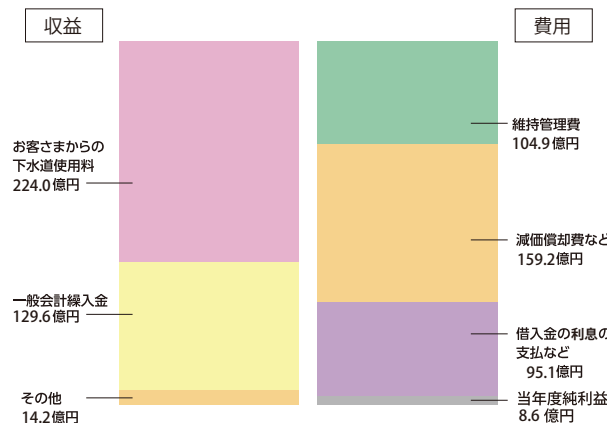
営業課 ☎ 044-200-3359 ㊟ 044-200-3996

下水道事業

下水道は、快適な生活環境の実現と公共用水域の水質保全及び雨水排除等のために欠かせない基幹施設であり、下水道機能の維持向上を図るための維持管理と更新、また、東日本大震災を踏まえた耐震化など、優先順位や重点化を配慮した建設整備に取り組んでいます。

財政面では、これまでの事業運営の効率化などにより、前年度に引き続き当年度純利益が8.6億円生じましたが、過去の建設投資の影響により、いまだ企業債未償還残高が高い水準にあり、依然として厳しい財政状態にあることから、今後も引き続き経営の自立に向け、より一層の経営の効率化を推進してまいります。

経営収支



▶▶ 収益 367.8 億円 - 費用 359.2 億円 = 当年度純利益 8.6 億円

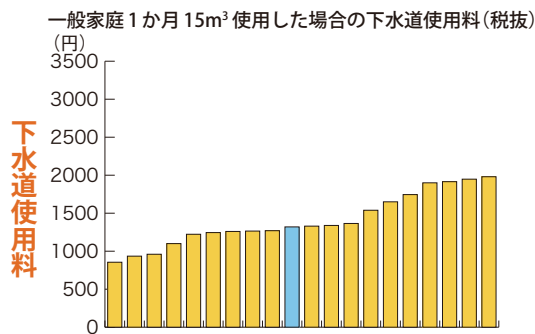
※汚水処理は下水道使用料で、雨水の排除は税金で負担するしくみとなっています。

下水道使用料 100 円の使い道



財務課[下水道財務] ☎ 044-200-2887 ㊟ 044-200-0376

下水道事業者のある大都市比較 (20 都市・東京都含む)



※15m³は、川崎市の1か月平均使用水量

営業課 ☎ 044-200-3359 ㊟ 044-200-3996